

県立学校 不登校・中途退学総合対策 (H27)

現状と課題

【現状】(H26公立校)

- 不登校の生徒数、出現率
460人、1.93%
- 中途退学の生徒数、出現率
549人、2.14%

【課題】

- コミュニケーション能力の不足、不本意入学、学業不振等による不登校、中途退学者に対する取組

未然防止、早期発見・早期対応

復帰支援

- 中学生体験学習
 - ・中学校と高等学校との連携を強化
 - ・不本意入学の防止
- 生徒指導部長会議
 - ・教育委員会と連携した学校支援及び指導助言

未然防止

- 欠席状況把握の調査
 - ・連続7日以上欠席生徒の状況把握
 - ・学校対応状況の把握
- 中途退学者に係る追跡調査
 - ・中途退学後の進路状況把握

実態把握

- 不登校を生まない集団づくり
 - ・リーフレットを活用した校内研修の実施
- 特別支援教育の視点を取り入れた授業の工夫改善
 - ・「わかる授業」への取組
(県高等学校教科等教育法研究事業の実施)
- 居場所づくり
 - ・生徒が安心でき、自己存在感や充実感を感じられる場所づくり
(学級集団アセスメントの実施や保健室等の活用)
- 別室登校指導
 - ・問題行動を起こした生徒を学校に登校させながら学習支援

指導支援

- スクールカウンセラーの配置
 - ・高等学校49校、特別支援学校7校
- スクールソーシャルワーカーの配置
 - ・3県立学校(定時制・通信制拠点校3校)
- 「学びの丘」教育相談主事による教育相談
 - ・県内6カ所の来所相談、教育相談主事等の派遣

教育相談

- 若者サポートステーションwith youへの接続

進路支援

平成27年度不登校対策に係る有識者会議

本県がめざす姿

- 不登校生徒の出現数・出現率の減少
- 中途退学者数の減少
- 学校復帰率の向上
- 不登校・中途退学者を生まない学校づくり
- 学校・家庭・地域・関係機関が連携した組織的な取組